

2024

UENOHARA SEIDA POTATO

Report



5年を迎えた「せいだ芋」栽培。毎年完売の人気商品「せいだ芋のポテトフライ」も大望の再販売へ

いつも「せいだ芋」の栽培活動を応援してくださりありがとうございます。2024年の「せいだ芋」の栽培活動は、3月に植え付けを行い、6月末から7月にかけて収穫が行われました。今年は、上野原市の地域活性化プロジェクト「まだ、知らないだけ。」の一環で、市内の生産者のみなさんとの連携栽培を強化いたしました。甘みと旨味が強く、ポテトフライと相性の良い「キタアカリ」にフォーカスして栽培を行い、ほっくりとした甘さを感じる芋本来の美味しさを最大限にお届けすることに注力しました。

Topics 1

「せいだ芋のポテトフライ」 雑誌『CREA』2024年冬号に登場

雑誌『CREA（文藝春秋発行）』の毎年人気の企画「贈りものバイブル」特集 2024年冬号にて、『せいだ芋のポテトフライ』が山梨県を代表する手みやげ3選に「完売必至の幻のポテトフライ」として掲載されました。



Topics 2

本格焼酎「芋大明神」、 第62回明治神宮全国特産物奉獻品へ

本格焼酎「芋大明神」は、昨年より明治神宮秋の大祭 全国特産物奉獻品に山梨県を代表する特産物として選出されています。本年についても奉獻が予定されており、11月1日(金)～3日(日)迄の大祭期間中に御神前の回廊に奉供が行われます。



Topics 3

11周年を迎えた本格焼酎「芋大明神」、 令和7年にリニューアル

2013年の発売より11周年を迎えた『本格焼酎 芋大明神』は、令和6年度上野原市ふるさと納税特産品開発事業の一環でリニューアルを予定しています。新生・本格焼酎「芋大明神」は、令和7年4月29日(火・祝)の「芋大明神祭」でのお披露目を目標に製品開発が進められています。

・「せいだ芋」とは

山梨県上野原近辺でのジャガイモの別名です。江戸時代、ジャガイモの栽培を奨励し、甲州（山梨）の人々を飢饉から救った代官・中井清太夫（なかいせいだゆう）の名にちなんで呼ばれています。代官は、上野原市の龍泉寺に「芋大明神」として祀られています。

・「上野原せいだプラント」とは

「せいだ芋」の栽培促進と伝承活動を行う、農業生産グループです。上野原市の地域活性化を目標に、「上野原せいだ芋」の地域ブランド化、特産品開発に向けて、行政と地域の皆さんと協力をしながら活動しています。